

『ナースのための統計学 第2版』

統計学のミニマム・リクワイアメントがここにある

著：高木廣文／定価：3,150 円（本体 3,000 円＋税 5%）
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



高木廣文先生の『ナースのための統計学』といえば、看護を学んできた私のような者にとっては、まさしく統計のバイブルのような存在ですが、何と初版から25年の時を経て、第2版を出されたということで、真新しい本を拝見させていただきました。初版本とは、ずいぶん体裁が変わり、書棚にしまっておくのがもったいないような素敵なパステル調の装丁になっていました。私としては、思わず笑ってしまうような挿絵のイラストが大好きなのですが、何よりも中の構成がずいぶん読みやすく工夫されて、とにかく見やすく、さらにわかりやすくなったと思いました。内容はといえば、基本的な構成はそのままに、ほとんど変わっていないようで、高木先生が「序」で述べられているように、用語に関していくつかの修正があったものの、基礎的な理論が変わるわけではないから、方法論としては変更の必要がなかったということをお聞きし、とても安心しました。

統計の基本は、目の前にある数値をどう読み解くかということであり、研究に限らず、看護の臨床で、そして私たちの生活の中のあるあらゆる場面で必要とされることです。母集団や標本、統計的推論につきものの誤差といった基本的な概念を理解することは、数値の変動の特徴を捉え、論理的に解釈していくプロセスの第一歩です。

統計学の本はデータ分析の際に必要に迫られ

て読むことが多いのですが、この本は研究を始める前にこそ読むべき本といえます。研究の目的を達成するために、どのような種類のデータがどれくらい必要かを考えて変数を選択し、収集したデータをどのように統計解析すべきかを考えて研究計画を立てる必要があります。私は、幸いにも今は、研究をする際には、統計学の専門家に相談できる環境にいますが、彼らが求めるミニマム・リクワイアメントは「基本的な用語や概念を理解しておいてほしい」というものです。この本はそれに応えるのに十分な統計の知識と素養を身に着けるのに役立つ本であるといえるかもしれません。多くのパソコン用統計ソフトが利用できるようになった今こそ、適切な統計手法を選択し、解析結果を正しく解釈することが重要となっています。この本は基本的な概念から応用のしかたまで、わかりやすく書かれていますので、すでにいくつかの統計手法を使ったことのある人こそ、改めて読み直すと、より理解が得られてよいのではないかと思います。となく難解な説明になりがちな統計学を“わかりやすい統計学”というコンセプトでここまでわかりやすく説明していただけるのは、とても有難いことです。ここでは扱いきれなかった項目や統計手法についての続編を高木先生のわかりやすい説明で出していただきたいと思うのは私だけではないような気がします。